

S A - 4 8 5 7 7

4CH Digital Video Recorder 取扱説明書



バージョン_1.2

製品のご使用の前のお願

正しくご使用頂く為に、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、末長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

製品構成は改善などの為、予告無く変更する場合があります。



警告



注意

警告及びご注意

この製品に水が入ったりしないよう、又、濡らさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。
又、コードの上に重いものを載せないで下さい。
火災・感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた所等不安定な場所に置かないで下さい。
落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。

内部には電圧の高い部分があり、 ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼下さい。

この製品の通風孔等から内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグや同軸ケーブルには触らないで下さい。
感電の原因となります。

製品のご使用の前のお願い



警告



注意

指定されたハードディスク以外の製品は使用しないで下さい。
録画が出来なかったりして、故障の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱機具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。

バランスが崩れて倒れたり、落下して、怪我の原因となることがあります。

内部の掃除については、販売店にご相談下さい。
内部にほこりが溜まったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

電源プラグを差し込んでいるコンセント部にほこりが溜まると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をして下さい。
又、電源プラグは根元まで差し込んで下さい。

お手入れの時や長期間この製品をご使用にならない時は、安全の為、電源スイッチを切り、感電プラグをコンセントから抜いて下さい。火災・感電の原因となることがあります。

目 次

I. 製品の紹介

1. 包装の内容
2. 製品の特長
3. 連結の方法

II. 設置の方法

1. 前面部の名称
2. 背面部の名称
3. メニュー構成

III. メニューの設定

1. メインメニューの設定
2. システム設定
3. 画面設定
4. 記録設定
5. アラーム設定
6. 動き検知設定
7. スケジュール設定
8. ネットワーク設定
9. データコピー (ARCHIVING)
10. HDD情報
11. 検索リスト

IV. 遠隔プログラム

添付1. 製品の仕様

2. 接続コネクター

I. 製品紹介

1. 包装の内容

- 4CH DVR 本体
- 電源コード 1個
- ラックマウントセット
- 取扱説明書
- インストールCD



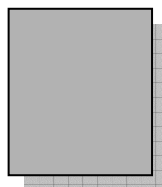
4CH DVR 本体



電源コード



ラックマウントセット



取扱説明書



インストールCD

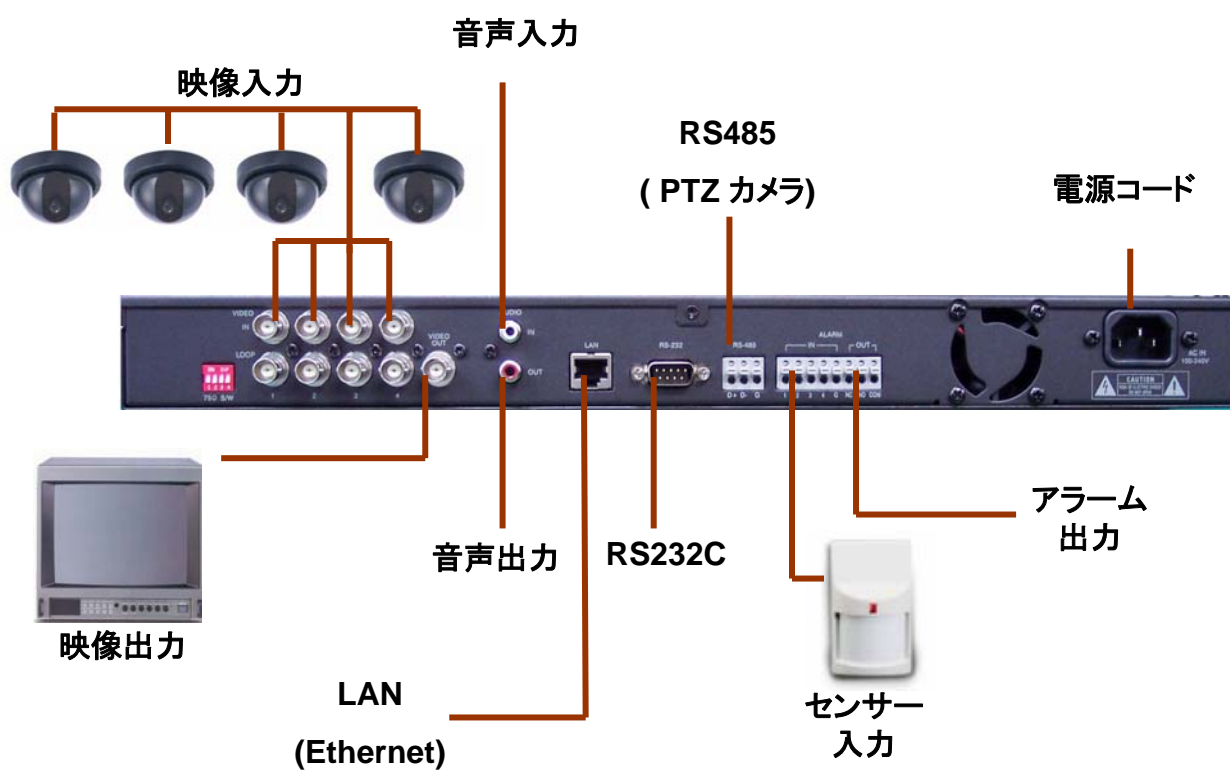
2. 製品の特長

- ◆ 4CH映像入力及び4CH映像Loop-Through出力
- ◆ ライブ及び録画映像の解像度
 - NTSC (720x480), PAL (720x576)
 - Single 画面, 4分割画面, 順次転換
 - 4CH REALTIME MULTIPLEXING 録画
- ◆ 圧縮方式: M-JPEG
- ◆ リモコン制御機能(オプション)
- ◆ 様々な検索機能支援(日付/時間、アラーム、動き検知)
- ◆ 様々な録画速度支援
- ◆ 800GBのHDD増設可能(HDD2個装着)
- ◆ TRIPLEX機能(録画、再生、ネットワークを同時に支援)
- ◆ バックアップ(Archiving)
 - USB 1.1 Storage Class 支援
- ◆ 簡単な操作
- ◆ 記録モード: マニュアル、スケジュール、アラーム及び動き検知
- ◆ アラーム入力 4個, リレー出力 1個支援
- ◆ ネットワーク機能
 - ダイナミック IP 支援 (DHCP)
 - ライブ及び録画映像の遠隔転送
- ◆ 音声記録及び再生
 - 1CH 音声入力及び出力支援

3. 連結の方法



USB PORT



II. 設置の方法

前面部の名称



1. USB ポート

USB メモリスティックを連結して静止画、動画をバックアップします。

2. Archiving ボタン

HDDに記録されているデータをUSBメモリスティックにバックアップします。

3. 録画/停止(●)

押すと録画を開始します。再度押すと録画を停止します。

4. 再生/停止(▶)

押すと再生を開始します。再度押すと再生を停止します。

5. 早送り再生(▶▶)

再生中に押すと再生速度が速くなります。(2倍、4倍、8倍、16倍、32倍)

6. 逆再生、早戻し(◀◀)

再生中に押すと逆再生されます。(2倍、4倍、8倍、16倍)

7. 一時停止(PAUSE: ||)

再生中に押すと再生が一時停止します。

8. メニューボタン

MENU/ESC ボタンはメインメニューの設定を行います。

9. 画面切換/自動順次転換(□□)

4分割画面, 自動順次転換(シーケンス機能)の切換を行います。

10. 動作表示 LED



1) 電源 LED

電源が入ると(赤)ランプが点灯します。

2) ネットワーク LED

ネットワークに連結してデータが転送されると(緑)ランプが点灯します。

3) Archiving(バックアップ) LED

USB メモリスティックを連結すると(緑)ランプが点灯します。

11. 方向移動及び数字ボタン



メニューの上下左右移動、設定値の変更、パスワードの入力を行います。

12. 選択ボタン(ENTER)

設定の選択、確定を行います。

背面部の名称

2



1

3

4

5

6

7

8

9

10

11

1. 75 Ohm 選択スイッチ

他の映像装備に loop-through 映像出力信号を利用するとき、75 Ohm 選択スイッチを“OFF”にして使用します。

2. 映像入力端子:

BNCコネクタのカメラ映像入力端子です。

3. Loop through 映像出力:

他の映像装備にDVR映像を連結するとき使用します。

4. モニター出力端子:

BNCコネクタのモニター映像出力端子です。

5. 音声入力及び出力端子:

音声入力及び出力端子です。

6. ネットワーク端子:

ネットワークに連結するとき使用します

7. RS232C ポート

DB-9S (female) コネクタをDVRに連結して他の機器と連結して使用します。

8. RS485 ポート:

パンチルトカメラを接続して制御するとき使用します。

9. アラーム及びセンサー入出力端子:

アラーム及び外部センサーの信号を入出力するとき使用します。

10. ファン

11. 電源コード挿入口

電源コードを差し込みます。

メニュー構成



III. メニューの設定

1. メインメニューの設定

製品の前面部の **MENU/ESC** ボタンを押すとメインメニューに入ります。



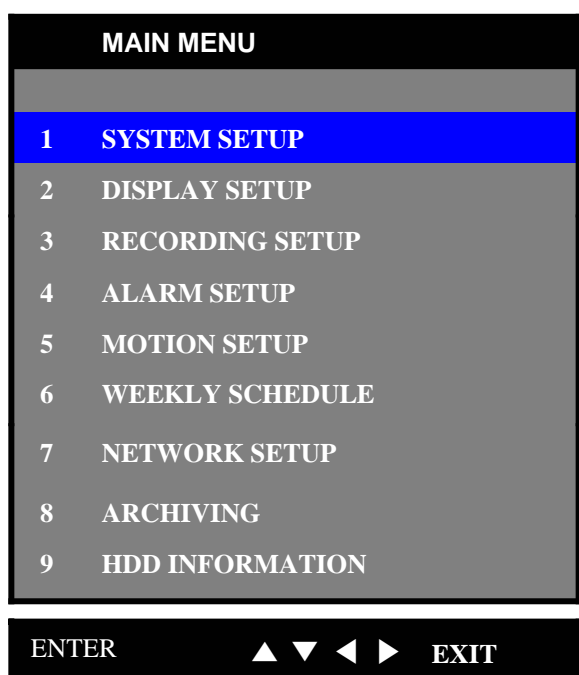
パスワードの初期値は1111です。
方向移動及び数字ボタンを利用してパスワードを入力するとメインメニューに入ります。

NOTE:

メニューの上下移動及び設定値の変更は方向ボタン{1と3}、左右移動は{2と4}、設定の選択は ENTER、上位メニューへの移動はMENU/ESCを使用します。



< MAIN MENU >



2. システム設定

システムの基本情報を設定します。

① SYSTEM SETUP		
1	VIDEO FORMAT	NTSC
2	PASSWORD	****
3	ADMIN LOCK	YES
4	TIME FORMAT	24HOURS
5	DATE FORMAT	YY-MM-DD
6	DATE/TIME SET	
		2004:01:11 10:50:11
7	REV STATUS	VERSION 0.9.6

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

1) 映像方式 (VIDEO FORMAT): NTSC/ PAL
映像入力によって自動的に認識されます。

2) パスワード (PASSWORD):
パスワードの変更が出来ます。

NOTE: 初期値は 1111 です。

SYSTEM SETUP			
2	PASSWORD	****	OLD

←既存のパスワードを入力

SYSTEM SETUP			
2	PASSWORD	****	NEW

←新しいパスワードを入力。
数字ボタン { UP(1), RIGHT(2), DOWN(3),
LEFT(4) } を利用して入力します。

SYSTEM SETUP			
2	PASSWORD	****	AGN

←パスワードの確認のため、再度入力します。

3) メニューロック: 入/切

{入}に設定するとメニューに入ったり、設定を変更したりすることが出来ません。

4) 時間表示 (TIME FORMAT: 24/ 12時間)

ライブ画面及び録画映像に表示される時間の表示方式を選択します。

5) 日付表示 (DATE FORMAT: MM-DD-YY/ DD-MM-YY/ MM-DD-YY)

ライブ画面及び録画映像に表示される日付の表示方式を選択します。

6) 時刻設定 (DATE/ TIME SET):

現在の年月日及び時間を設定します。

NOTE:

設定するときには録画を止めてから設定してください。



7) システム情報 (REVISION STATUS)

システムのバージョン情報を表示します。

3. 画面設定

② DISPLAY SETUP		
1	ADJUST CHANNEL	CH1, CH2, CH3, CH4
	BRIGHTNESS	1-99 %
	CONTRAST	1-99 %
	PTZ TYPE	
2	SEQ DWELL TIME	NONE, 1-60 SEC
3	TIME/ DATE OSD	ON/ OFF
4	CAM NUMBER OSD	ON/ OFF
5	VIDEO LOSS OSD	ON/ OFF
6	POP-UP DISPLAY	ON/ OFF
7	DEFAULT	YES/ NO

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

システムの画面情報を設定します。

1) チャンネル選択 : CH1, CH2, CH3, CH4

設定するカメラを選択して、画面の明るさ、コントラスト及びパンチルトカメラのプロトコルを選択します。

NOTE :

支援可能の PTZ protocols: Panasonic/ Pelco-D/ PelcoP/ Techwin/ Niko/
DRX502A_DSC230s/KRE_301_302/ GC_755_NP/ TOA_CC554/ RAS716LS

* PTZ (パン、チルト、ズーム) の制御

パンチルトカメラの制御は DVR前面部の UP(1), RIGHT(2), DOWN(3), LEFT(4)ボタンを利用します。

1) パン、チルト、ズームの制御 : ENTER

- カメラ選択及び方向選択: UP(1), RIGHT(2), DOWN(3), LEFT(4)
- Zoom In/ Zoom Out ボタン: FF (▶▶), REW (◀◀).

2) ENTER ボタンを押すとモニターに “PTZ MODE”というOSDが表示されます。

2) シーケンスタイム: 切/1～60秒

ライブ画面での順次転換の時間を設定します。

3) 時刻表示: 入/切

ライブ画面での時刻表示の{入/切}を設定します。

4) カメラ番号表示: 入/切

ライブ画面でのカメラ番号表示の{入/切}を設定します。

5) 映像ロス表示: 入/切

ライブ画面での映像ロス表示の{入/切}を設定します。

{切}に設定した場合は背景色が黒に変わります。

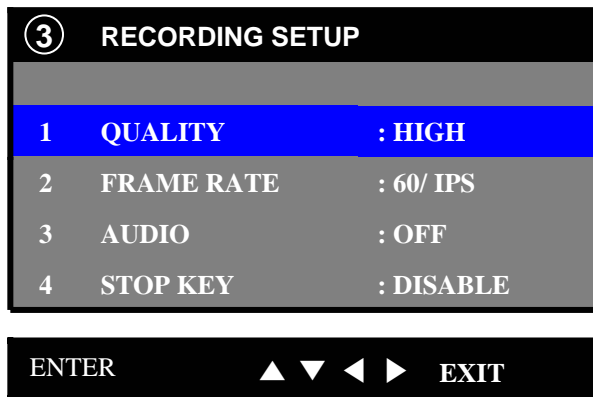
6) ポップアップ表示: 入/切

{入}に設定した場合、動き検知かアラームなどのイベントが発生すると、該当画面が拡大されます。

7) 初期設定:入/切

変更した設定値を初期化させます。

4. 記録設定



記録する映像の品質を設定します。

1) 画質 (QUALITY): 低画質、標準、高画質、超高画質)

録画映像の品質を設定します。

2) コマ数 (FRAME RATE): 60, 30, 15, 10, 5, 1, 0.5 IPS.(NTSC)

録画映像のフレームを設定します。

3) 音声 (AUDIO): 入/切)

録画映像と共に1CHの音声を記録します。

4) 停止ボタン(STOP KEY): 無効/有効

{無効}に設定した場合は **REC/ STOP** ボタンが動作しません。

NOTE: DVRが録画中には設定の変更ができませんので、必ず、録画を止めてから、設定の変更を行ってください。

5. アラーム設定

④ ALARM SETUP		
1	FRAME RATE	: 60/ IPS
2	DURATION	: 3 MIN
3	SENSOR TYPE	: NONE/ N.O/ N.C
4	TRIGGER OUT	: DISABLE
5	BUZZER ALERT	: DISABLE

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

外部のセンサーの入力時、録画を開始する機能です。

1) コマ数 (FRAME RATE): 60, 30, 15, 10, 5, 1, 0.5 IPS.(NTSC)

イベント発生時、録画する映像のフレームを設定します。

2) 記録時間(DURATION)

イベント発生時、録画する時間を設定します。

3) 接点入力 (SENSOR TYPE): 切/ N.O/ N.C

センサーのタイプを設定します。

4) アラーム出力 (TRIGGER OUT): 入/切

イベント発生時、アラーム出力の{入/切}を設定します。

5) 警報音 (BUZZER ALERT): 入/切

イベント発生時、警報音の{入/切}を設定します。

6. 動き検知設定

⑤ MOTION SETUP		
1	SENSITIVITY	: Normal
2	FRAME RATE	: 60/ IPS
3	DURATION	: 1 MIN
4	CAM1	: DISABLE
5	CAM2	: DISABLE
6	CAM3	: DISABLE
7	CAM4	: DISABLE
8	BUZZER ALERT	: DISABLE

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

録画環境を設定して画面の映像に動きが発生した場合のみ、録画することができます。

1) 感度: (1～5)

動き検知の感度を設定します。

2) コマ数(FRAME RATE): (60, 30, 15, 10, 5, 1, 0.5)

イベント発生時の映像フレームを設定します。

3) 記録時間 (DURATION):

イベント発生時、録画時間を設定します。

4) カメラ1, カメラ2, カメラ3, カメラ4: 切/全体/エリア

各々のカメラの動き検知エリアを設定します。

特定のエリアを選択する為にはエリア設定画面で方向ボタンを押しながら、ENTERボタンを押して、特定のエリアを選択したり、解除したりします。

5) 警報音(BUZZER ALERT): 入/切

イベント発生時、警報音の{入/切}を設定します。

7. スケジュール設定

⑥ WEEKLY SCHEDULE			
WEEK	START	DURATION	
SUN	00: 00	00: 00	OFF
MON	00: 00	00: 00	OFF
TUE	00: 00	00: 00	OFF
WED	00: 00	00: 00	OFF
THU	00: 00	00: 00	OFF
FRI	00: 00	00: 00	OFF
SAT	00: 00	00: 00	OFF
HOLIDAY	NONE	NONE	OFF

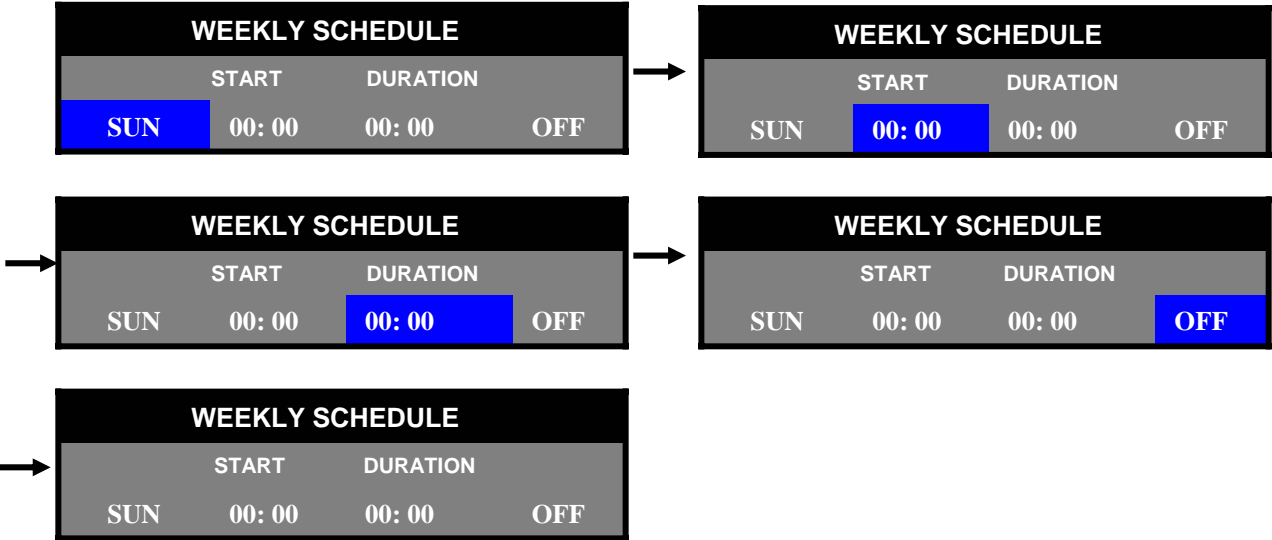
ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

録画したい日付を選択して、予約録画ができます。

WEEKLY SCHEDULE			
	START	DURATION	
SUN	00: 00	00: 00	OFF
MON	00: 00	00: 00	OFF
WEEK	NONE	NONE	OFF

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

DOWN、UP(曜日移動、設定変更) ボタン
LEFT、RIGHT(移動) ボタン、
MENU/ESC(上位メニュー移動)
のボタンを使用します。



8. ネットワーク設定

⑦ NETWORK SETUP		
1	CONNECT	: STATIC/ DHCP
2	IP ADD	: 192. 168. 123. 163
3	SUB NET	: 255. 255. 255. 0
4	GATE WAY	: 192. 168. 123. 254
5	PORT	: 5000

ENTER	▲ ▼ ◀ ▶	EXIT
-------	---------	------

インターネットを利用して遠隔でLOCALのDVRの監視、再生、バックアップが出来ます。

1) 接続: STATIC/DHCP

1. 固定IP : STATIC選択
2. ダイナミックIP : DHCP選択

2) IPアドレス :

1. 固定IP: INTERNET PROVIDERが提供したIPを入力します。
2. プライベートIP: ルータによって異なります。

3) サブネットマスク:

1. 固定IP: INTERNET PROVIDERが提供した番号を入力します。
2. プライベートIP: 自動設定されます。

4) GATE WAY:

ルータのIPを設定します。

5) PORT:

初期設定は5000番です。

9. データコピー (ARCHIVING)

⑧ ARCHIVING		
1	ARCHIVING TYPE	: SINGLE/ MOTION
2	ARCHIVING TIME	: 1 to 60 SEC
3	ARCHIVE INFO	
	NAME:	
	TOTAL:	
	FREE:	
4	ARCHIVE LOG	: NONE

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

1) ARCHIVE TYPE:

HDDに記録されている映像データとDVRのログ情報をUSBメモリスティックにバックアップします。

1. バックアップするデータのタイプと時間を選択します。(静止画、動画)
2. USBメモリスティックを前面部のポートに差し込みます。
3. バックアップする映像が再生されたら前面部のARCHIVING ボタンを押します。
4. 再生映像データがUSBメモリスティックにバックアップされます。
5. バックアップされた映像データは遠隔プログラムで再生できます。

NOTE: ネットワークと記録を止めてから行ってください。

10. HDD情報

⑨ HDD INFORMATION		
1	MASTER HDD	: WDC WD1200
	TOTAL	: 111GB
	FREE	: 111GB
2	FORMAT HDD	: NO
3	OVERWRITE	: OFF

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

1) マスター HDD:

DVRに電源が入ると自動的にHDDの情報を表示します。

2) HDD初期化 (FORMAT HDD:)

HDDに記録されているデータを削除します。

3) 上書き: 入/切

HDDの上書きの{入/切}を設定します。

11. 検索/再生の操作

SEARCH LIST					10/ 10	← 記録されたファイル数
LIST TYPE		ALL	10-15-2004			
1	10-15-2004	10:20	10-15-2004	11:20		
2	10-15-2004	12:20	10-15-2004	13:20		
3	10-15-2004	13:20	10-15-2004	14:20		
4	10-15-2004	14:20	10-15-2004	15:20		
5	10-15-2004	16:20	10-15-2004	17:20		
6	10-15-2004	18:20	10-15-2004	18:50		
7	10-15-2004	19:20	10-15-2004	19:25		
8	10-15-2004	20:20	10-15-2004	20:25		
9	10-15-2004	21:20	10-15-2004	21:50		
10	10-15-2004	22:00	10-15-2004	23:10		← 最近記録されたファイル

ENTER ▲ ▼ ◀ ▶ EXIT

前面部の{再生/停止} (▶) ボタンを押すと検索リストが表示されます。

SEARCH LIST					10/ 10
LIST TYPE		ALL	10-15-2004		
1	10-15-2004	10:20	10-15-2004	11:20	

→

SEARCH LIST					10/ 10
LIST TYPE		ALL	10-15-2004		
1	10-15-2004	10:20	10-15-2004	11:20	

検索の方法を選択します。方向ボタンを使用します。

SEARCH LIST					10/ 10
LIST TYPE		ALL	10-15-2004		
1	10-15-2004	10:20	10-15-2004	11:20	
10	10-15-2004	22:00	10-15-2004	23:10	

再生するファイルを選択して{PLAY/ STOP} (▶) ボタンを押すと該当時間の映像を再生できます。

SEARCH LIST					10/ 10
LIST TYPE		ALL	10-15-2004		
1	10-15-2004	10:20	10-15-2004	11:20	
10	10-15-2004	22:00	10-15-2004	23:10	

IV. NetViewer(遠隔プログラム)

1. ソフトウェア設置

提供されたCDの中のSetup.exe ファイルを実行して、遠隔プログラムを設置してください。

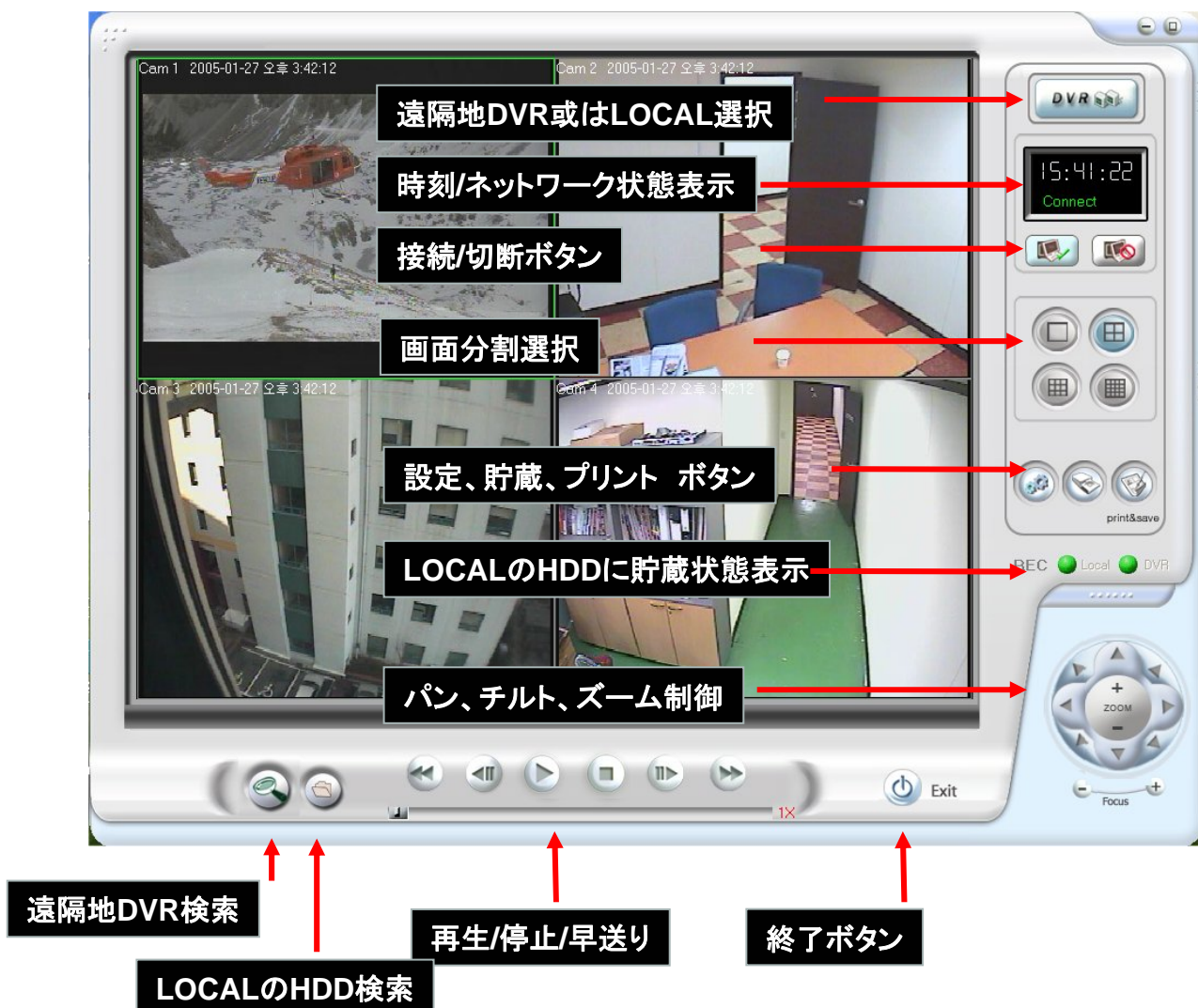
NOTE: 既存に設置したNetviewerのソフトウェアがありましたら、削除してから設置してください。

2. NetViewer 動作

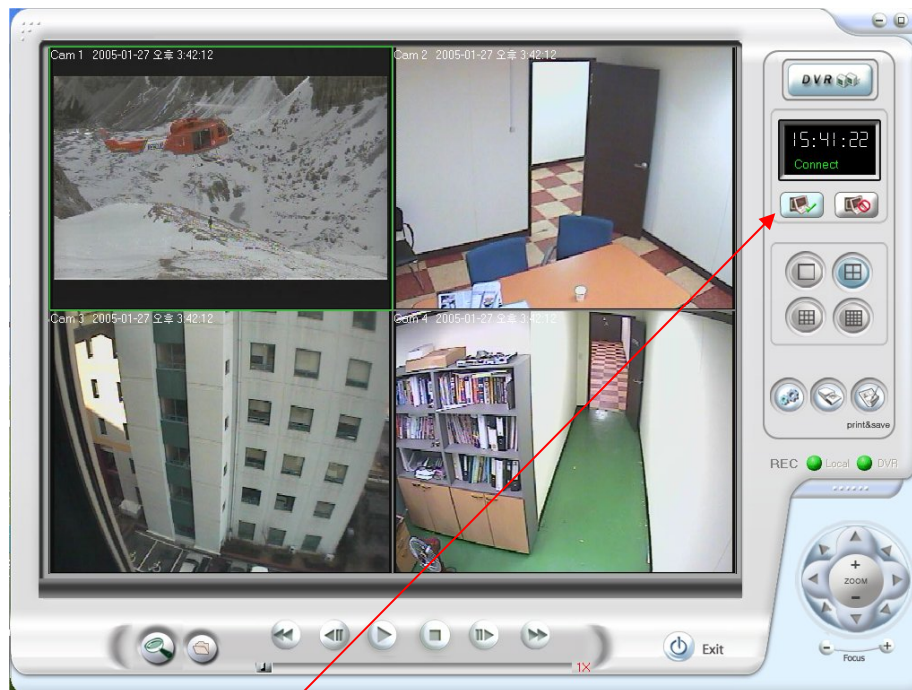
1) NetViewer 機能

- RealTime モニタリング
- 遠隔地のDVRの映像データ再生
- LOCALのHDDにRealTime映像記録及び遠隔地検索映像の記録
- パン、チルト及びズーム制御
- 遠隔地のDVRのファイル検索
- 選択した映像のプリント及びAVIファイル変換

2) メインウィンドウ



3) 遠隔地DVRにネットワーク接続



- 1) DVR ネットワーク接続ボタン
ボタンをクリックすると、下図の“Log-in” ウィンドウが現れます。

The image shows a 'Login' window with a title bar. Inside, there are four input fields: 'TITLE' with a dropdown menu showing 'admin', 'IP' with the text '192 . 168 . 123 . 189', 'PORT' with the text '5000' and a small icon to its right, and 'PASS' with an empty text box. At the bottom are two buttons: 'OK' with a green checkmark icon and 'Cancel' with a red X icon. Red arrows point from the numbered instructions on the right to these specific fields and buttons.

2) ユーザ選択(現在は固定)

3) DVR IP アドレス 入力

4) DVR サーバーポート番号入力
(初期値は 5000です)

5) パスワード入力
(遠隔地のDVRのパスワードと同じです)

6) 接続

4) 分割画面選択



1) 1画面分割

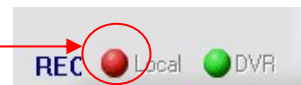
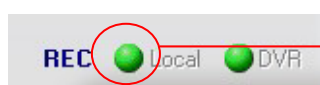


2) 4画面分割

5) 映像をLOCALのHDDに貯蔵



“REC” ボタン (LOCAL SAVE) をクリックすると、ライブ映像を LOCAL PC の HDD にバックアップします。
バックアップデータは下図の FOLDER で確認できます。



6) PTZ カメラ制御

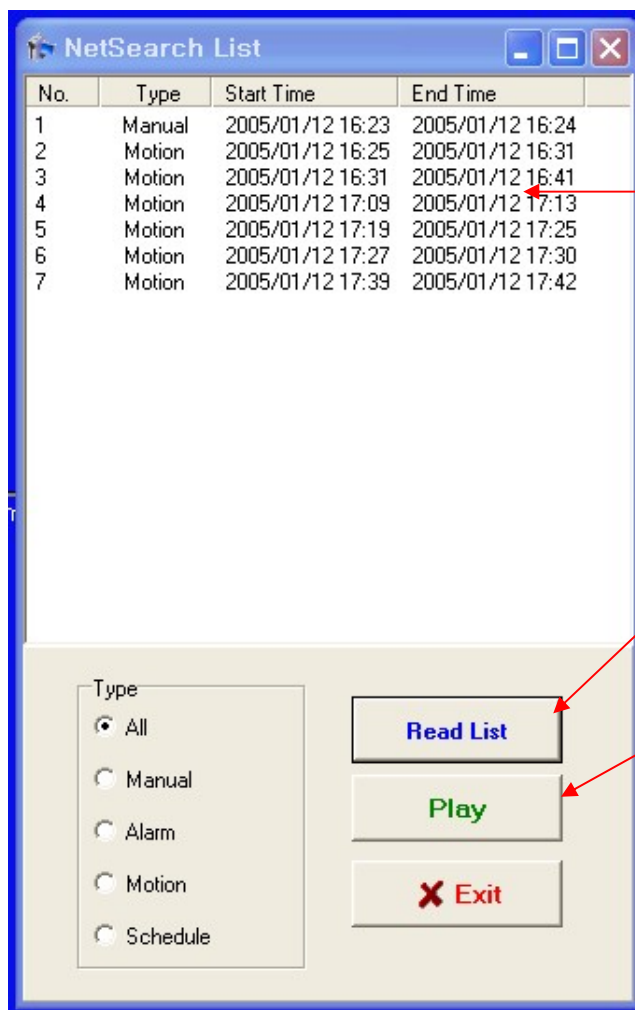
下図の CONTROLLER でパンチルトカメラの制御が出来ます。



7) 遠隔地のDVRのデータ検索



上図の検索ボタン(REMOTE RESEARCH)ボタンを押すと下図のようなウィンドウが現れます。



1) 遠隔地のDVRの記録データ

2) "Read List" ボタンを押すと遠隔地のDVRの記録データが表示されます。

3) 再生したいファイルを選択して、"Play" ボタンを押すと該当データが再生されます。

4) 再生中に下図の "STOP" ボタンを押すとモニタリング画面に戻ります。



8) 静止画の印刷及び貯蔵

- 1) 印刷或は貯蔵したい静止画を選択して、“PRINT&SAVE” ボタンを押すと静止画の印刷及び貯蔵が出来ます。



9) AVI 変換

USBメモリスティックと遠隔プログラムでバックアップした映像データ(.dvr)は AVIファイルで変換できます。

- 1) AVI変換プログラムの実行
Windowsのスタート → プログラム (P) → NetViewer → AVI CONVERTER
- 2) AVI 変換方法
変換したいチャンネルを選択 → FILE OPEN クリック → データ選択 → MAKE AVI クリック → FILE名 入力 → 変換するファイルのCODECを選択 → Okを押すとAVIファイルが生成



- 3) 生成されたAVIファイルはどんなPCでもWINDOW MEDIAPLAYERで再生できます。

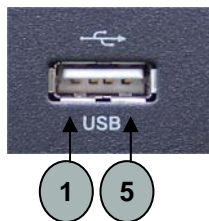
NOTE: PCには変換されたファイルのCODECをインストールする必要があります。

添付 1. 製品の仕様

映像入力		4チャンネル, NTSC/PAL, 1V peak-to-peak, 75 Ohm, BNC
音声入力及び出力		入力: 1CH, 出力: 1CH
映像出力		loop-through 出力: 4CH, モニター出力: 1CH
ディスプレイ解像度		NTSC: 720x480, PAL: 720x576
ビデオ映像監視モード		1画面, 4分割画面, 自動順次転換(シーケンス)画面
録画解像度		Fullモード, 4CH RealTimeマルチプレッサー貯蔵
		NTSC: 720x480, PAL: 720x576
圧縮方式		M-JPEG (modified)
OS		Embedded Linux
同時機能		録画 / 再生 / ネットワーク
圧縮率(KB/映像) (NTSC: 720x240, PAL: 720x288)		一般映像: 13~17 (NTSC), 15~19(PAL) 一般映像以上: 20~25 (NTSC), 22~27 (PAL)
録画速度 (IPS)		60 fps (NTSC), 50 fps (PAL)
録画	秒当り画面数	60/30/15/10/5/1/0.5 (NTSC), 50/25/12/6/5/1/0.5 (PAL)
	モード	マニュアル、スケジュール、動き検知、アラーム
ディスプレイ		60 Field per Sec (NTSC), 50 Field per Sec (PAL)
予約録画		分単位設定可能
		Full-time 録画, Holiday 録画
状態表示LED		電源, ネットワーク, バックアップ(Archive), 録画(ボタンに内臓)
イベント (アラーム, 動き検知)		録画速度選択可能
		録画時間: 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,20,30,40,50,60分
アラーム出力(4)/リレー出力(1)		入力: NO, NC選択可能. 出力: NO及びNC 同時支援, リレー出力
再生		通常速度: x1 speed
		倍速再生: x2,x4,x8,x16,x32(NTSC, PAL)
		逆再生: x2,x4,x8,x16(NTSC, PAL)
		一時停止, コマ送り可能
		検索モード: 全体/日時/マニュアル/アラーム/動き検知/スケジュール
ネットワークプロトコル		Protocol: TCP/IP, PPP, and DHCP
通信ポート		RS232 / RS485 (Pan/Tilt/Zoom)
HDD タイプ		EIDE, ATA-6, 3.5 inch, 7200rpm
バックアップ(Archiving)		USB メモリスティック、ネットワーク
電源		AC100-240V, 50-60Hz
寸法/重さ	寸法	44(W) x31.5(D) x4.4(H) (17.3 in. x12.4In. x 1.73 In.) (19", 1U)
	重さ	11lb (5kg)
動作温度		40° to 104° F (5° to 40° C)
認証		FCC Class A, CE and cUL (UL)

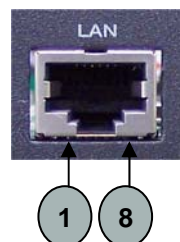
添付2. 接続コネクター

1. USB 端子



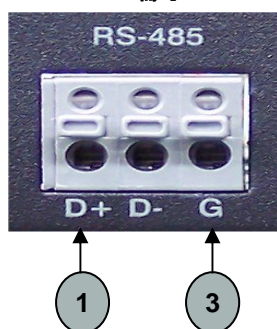
端子番号	仕様
1	電源(5V)
2	D- (TX-)
3	D+(TX+)
4	アース
5	ケースアース

2. LANポート(RJ-45) 端子



端子番号	仕様
1	TXD+
2	TXD-
3	RXD+
4	NC
5	NC
6	RXD-
7	NC
8	NC

3. RS485 端子

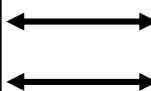


DVR 本体

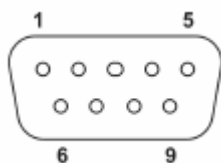
端子番号	仕様
1	RS485 D+ (TX +)
2	RS485 D- (TX -)
3	GND

外部装備 (例, PTZ カメラ)

端子番号	仕様
x	RS485 D+ (RX +)
x	RS485 D- (RX -)



4. RS232C 端子(DSUB-9)



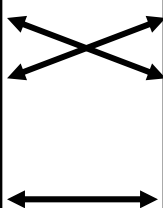
1 9

DVR 本体

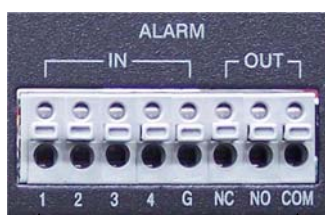
外部装置(例、PC)

端子番号	仕様
1	NC. (DCD)
2	RXD (Receive Data)
3	TXD (Transmit Data)
4	NC. (DTR)
5	GND (System Ground)
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

端子番号	仕様
1	NC.
2	RXD
3	TXD
4	NC.
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



5. アラーム入力及び出力端子



1

8

端子番号	仕様
1-4	アラーム入力信号1～ 4
5	アース
6	リレー出力 (normal open)
7	リレー出力 (normal close)
8	共用アース